

Kayako's News Letter

無所属

小林かやこ

区民ニュース Vol.7
2022.November



～困ったときにひとりにしません～

事務所：〒166-0015 杉並区成田東 4-34-15 昭電社ビル 102 Tel 03-3315-3820 連絡先：杉並区和泉 1-53-6

Mail : kayakoba@cap.ocn.ne.jp ホームページ : <https://kayako15.wixsite.com/my-site-1>

f : <https://www.facebook.com/kayako.kobayashi/>
プロフィールは、HP からご覧ください。

Search 「小林かやこ」で検索



統一教会の国会・自治体議会への介入の実態

来年区議選に向け統一教会会員や推薦候補の実態の解明を！

私が事務局を務めている「平和・立憲会議」（超党派の自治体議員で構成する全国ネットワーク）が、去る10月25日に衆議院第一議員会館で「統一地方選に向けて、統一教会問題と地方政治」と題する緊急集会を開きました。講師には有田芳生前参議院議員をお招きし、統一教会の成り立ちから靈感商法の実態や、国会議員や地方自治体議員と教会や支援活動との強い結びつきについてお聞きしました。長年フリージャーナリストとして教団を取材してきた有田さんは、統一教会が国会議員を取り込むために、若い会員女性の研修を行い国会議員秘書として100人近く国会に送り込み今でも活動を続けていること、また地方議会の中にも教団会員を送り込み、80年代にはスパイ防止法の制定を掲げて熱心に全国で活動してきたこと。現在は国が家庭教育の基本方針を定めるという「家庭教育支援法」の制定を求める意見書の提出を求める請願・陳情を提出、各地の地方議会16自治体で可決されている実態などを明らかにしました。

政治と宗教との歪んだ関係が地方自治の現場にも影響している事を知り恐ろしく思いました。私は政党や政治団体に属する事なく、特定の組織や団体の支援を受けずに無所属で活動していくことの重要性を改めて自覚したところです。



←こちらが私

気候変動対策に積極的な自治体の女性首長3人

10月8日に「イクレイ (ICLEI) – 持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会」という国際環境団体が主催する座談会に出席してきました。座談会では、気候変動対策に積極的に取り組んでいる自治体の市長3人が語りました。

フィンランドのトゥルク市からミーナ・アルヴェ市長、武蔵野市の松下玲子市長、そして杉並区の岸本聡子区長の3人です。

なんと3人とも女性の首長です。気候変動



対策や環境問題に関心の高い自治体の首長に女性が多いというのもある意味必然だと思う...と、岸本杉並区長は発言されていました。

また岸本区長は「杉並区でも武蔵野市の気候変動市民会議の様な、住民が主体的に気候変動計画を作れる様な場をつくりたい」と語っていました。

私も環境問題、気候変動対策はライフワークにしています。杉並区の積極的な取り組みに期待したいと思います！



来年4月から高校生等の医療費が無料になります！

9月12日から10月19日まで区議会が開催され、高校生の年齢を対象にした医療費の無償化が議員全員の賛成で決まりました。

これまでは乳幼児から義務教育就学児までは無料だった医療費が、16歳から18歳に拡充されます。親が区外でも本人が区内に居住していれば対象となることや、結婚をしていますが、働いていても対象になります。

注意点は、中学生まで医療費が無料になっていた人はそのまま継続できま

すが、16歳～18歳で新たに対象になる方は申請が必要とこのことです。来年から始まり移行期間となるそうですの

でご注意ください。また親が区外に住む場合には、本人に通知が送られるため、通知が放置されると折角の機会を失うことになるとのこと。

区議会では新城区議が、申請が未提出の場合には確認の連絡をするよう求めたところ、区は行う考えを示していました。



岸本聡子新区長が率直な姿勢で議会に答える

区議会の第3回定例会は、岸本新区長の所信表明に対する各会派の代表質問などが行われていました。



新区長が公約とした「さと子ビジョン」については、評価できる面がある一方で、実現不可能な課題もあると言われており、特に西荻を縦断する補助132号線や河北病院移転に伴う阿佐ヶ谷北東地域のまちづくり等、すでに事業として始まっている課題や区立施設再編整備について、反対していた区長がどう答えるか注目されました。

区長はこれらの点については「区長に就任して以降、担当課の説明や施設の視察を通じてそれぞれの事業の必要性については理解した」とし、その上で、区民への説明や情報公開のあり方に問題があったと指摘、区民との懇談を重視する考えを示していました。

けしば議員、新城議員からは、公約にあった誤りについては率直に認め、情報公開をめざす姿勢に好感がもてたとの感想を聞きました。

今後の区民との対話や情報公開に期待したいと思います。

くらし・労働・法律 相談会

日時：11月30日(金) 午後6時30分～8時30分

場所：阿佐ヶ谷地域区民センター第7会議室

(JR阿佐ヶ谷駅からガード下の商店街を高円寺方向に徒歩3分)

担当：荒木昭彦 弁護士

ご相談は無料です。事前にご予約ください。急ぎの方は090-5497-4222 / 090-1500-9886まで。

小林かやこ 略歴

- ・1968年アフリカ・エチオピア生まれ。10歳で帰国。・杉並区立西田小学校・松溪中学校卒業
- ・日本女子大学英文学科卒業、早稲田大学第二文学部卒業、熊本大学大学院修士課程修了
- ・英国系銀行東京支店、都市計画コンサルタント会社勤務
- ・2004～2017大分県由布市(湯布院町)で町議会議員(1期)、市議会議員(3期)
- ・2018～静岡県自治体で特別行政職員勤務、・現在 公共政策アドバイザー会社勤務
- ・2022年6月杉並区議会議員補欠選挙出馬

(受賞) 第1回ローカルマニフェスト大賞審査員特別賞/日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2008」